

特別展

日本通運株式会社所蔵

横浜浮世絵コレクション展



歌川貞秀「横浜交易西洋人荷物運送之図」(部分) 文久元年(1861)

第1期 平成 3月30日[土]~5月 6日[月]
 14年
 第2期 平成 5月14日[火]~6月16日[日]
 14年

開館時間 午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)
 休館日 月曜日(4月29日・5月6日は開館)、4月23日、4月30日、5月28日
 5月7日~13日は展示換えのため休館
 観覧料 大人200円(100円)
 小中学生100円(50円)
 ()内は20名以上の団体料金
 ※上記の料金で特別展のほか常設の「現代の物流」展示室もご覧頂けます。



物流博物館

〒108-0074 東京都港区高輪4-7-15 TEL 03(3280)1616 FAX 03(3280)4385 <http://www.lmuse.or.jp>



歌川貞秀「横浜商館真図」 文久元年（1861）



歌川芳虎「武州横浜八景之内 朝市の雪 南京人」 文久元年（1861）

特別展

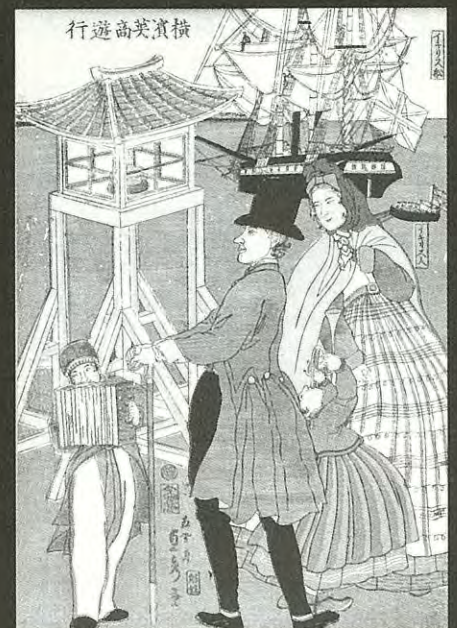
日本通運株式会社所蔵

横浜浮世絵コレクション展

見慣れぬ顔をした不思議な服装の外国人、もの珍しい彼らの習慣、開港場の慌しいにぎわい、交易される品々と港に停泊する蒸気船…。安政6年（1859）に横浜が開港するとまもなく、同地の外国人風俗を主な題材とした浮世絵版画が次々と刷られ、売り出されるようになります。以後、明治初期にかけて出版された横浜浮世絵と呼ばれるこれらの版画に登場するのは、活気あふれる異文化との出会いの光景です。当時の人々に時代の動きを伝えるために描かれた多数の作品からは、海外との交流が活発となり、ものが運ばれ、人が交わることを通して開かれていった時代の様相が鮮やかに浮かび上がります。

今回の特別展では、日本通運株式会社が所蔵する500点近い横浜浮世絵コレクションの中から約300点を選び、会期を2期に分けて驚きと好奇心に満ちた横浜浮世絵の世界をご紹介します。

協力：日本通運株式会社



歌川貞秀「横浜英商遊行」 文久元年（1861）



歌川広重（三代）「横浜海岸通之図」 明治3年（1870）